

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	子どもたちが自分の手で作る「こども未来バス」
事業主体 (連絡先)	下諏訪町
事業区分	⑧その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,804,182円 (うち支援金: 1,205,000円)

事業内容

1. 町内中学生へプロジェクトへのおさそい案内配布
参加申込者 6名
2. バスツアー 7/26 (金) 13:00~16:00
参加者 11人
3. プロジェクト会議
8/2 (金) 参加者6名+アドバイザー
8/8 (木) 参加者7名+アドバイザー+内装と塗装業者
4. ペイントイベント
11/16 (土) 17 (日) 参加者 12人+12人+業者3名
5. お披露目会
12/15 (日) プロジェクト10人+来賓15人



【完成したこども未来バス】

【目標・ねらい】

- ① 子どもたち主体でバスを改修し居場所をつくる。
- ② 子どもたちと移住者の交流を図る。
- ③ バスを利用してもらう。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 中高生が主体となるプロジェクトを立ち上げ、バスの改修に向けた取り組みを行った。
参加した中高生の延べ人数 59人
- ② 移住者がリノベーションした施設を見学し、リノベーションについて学ぶとともに、移住者との交流ができた。移住者がリノベーションした施設見学 3箇所
- ③ バス改修後は、中高生だけでなく、親子連れなど幅広い方が利用している。平日約 30人・土日約 50人

※自己評価 【 A 】

【理由】

子どもたちが積極的に計画立案から作業まで行うことができた。移住者・建設労働組合の人たちと子どもたちの交流が図られた。オープン後、予想以上に多くの人たちに利用され喜ばれている。

今後の取り組み

1. いつ来ても気持ちよいバスになるように維持管理を徹底する。
基本的には図書館職員が毎日の清掃をするが、下諏訪の小中高の図書委員会の代表が集まる「下諏訪 Book プロジェクト」などで子どもたちの手で年1回のバスの清掃を行う。また、塗り替えなどが必要になったときは、子どもたちを集めてイベントとしてペインティングする。
2. バスを使って図書館が「乗り物お話し会」を行うなど、バスを使ってのイベントを企画する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある